

子どもプロジェクト・改革事項(案)

① 柔道教室のさらなる充実を図る

(現在、全日本柔道連盟が関わって実施されている柔道教室)

1. 柔道教室(教育普及委員会担当)
2. 全国少年競技者育成事業(少年指導者育成プログラム特別委員会担当)
3. 地方少年柔道錬成大会(日本武道館担当)
4. 基礎力強化合宿(強化委員会担当)

*派遣講師研修会を年2回ほど実施し、内容の充実を図っている。

(内容充実のための構想)

1. 現在、改革・改善プロジェクトにおいて推進している内容について、柔道教室を用いて周知徹底して行く。
2. 講師の研修をより充実させるとともに、元メダリスト・強化選手等に協力を要請する。
3. メダリスト・元強化選手等を中心に人材バンクをつくり、地方からの指導者派遣に関する要請や、柔道未経験の子どもたち・保護者を対象とした柔道教室開催に対応する体制を作る。

② 標語の作成

柔道ルネッサンス活動の際に使用した標語・キャッチフレーズを活用するとともに、新しい標語・キャッチフレーズを作成する。(公募等による)

(標語・キャッチフレーズの例)

- ・礼儀は僕らの得意技
- ・柔道で世界のみみんなと友達に

③ ポスター・リーフレットの作成

柔道の良い面をアピールできるポスター・リーフレットを作成する。

1. ポスター下部に道場・クラブ名等を記入できるようにして、道場・クラブ生募集にも使用できるようにする。
2. 柔道を始めたい子ども、保護者に向けてのリーフレットを作成する。
3. ポスター・リーフレットともに全柔連 HP でダウンロードできるようにする。

④ DVD 作成

柔道の良い面をアピールできるDVDを作成する。

- *いろいろな指導者の良い指導事例をロールプレイング方式で集約したものとする。
- *技術DVDではなく、基本動作・受け身・礼法・形等を通じて、柔道精神やマナーを指導できるDVDを作成。

⑤ 少年少女及び保護者を対象としたアンケート調査

- 1.対 象 者 :子ども及び保護者(子どものみ、保護者のみ、子どもと保護者協同 可)
- 2.調査場所 :8/4 全国錬成大会、8/25 小学生学年別、9/16 マルチャン杯、HP 上(予定)
- 3.アンケート内容(5項目程度で、○で答えてもらう)
 - (ア) 柔道を始めた動機
 - (イ) 柔道を始めてみて、始める前と考え方が変わった点がありますか
 - (ウ) 柔道に求めるもの

⑥ 少年柔道全国組織の創設

現在の少年柔道界には、全日本少年団、各道場連盟等が存在するものの、全日本柔道連盟の下部組織としての正式な全国的な組織は存在しない。

長期計画として、このプロジェクトを含めて改革・改善プロジェクトの改革案を全国隔々にまで行き渡らせ、効果を上げることを目的として、実柔連・学柔連・高体連・中体連のような小学生の全国的組織を創設する。